

# 増進型福祉ゼミ

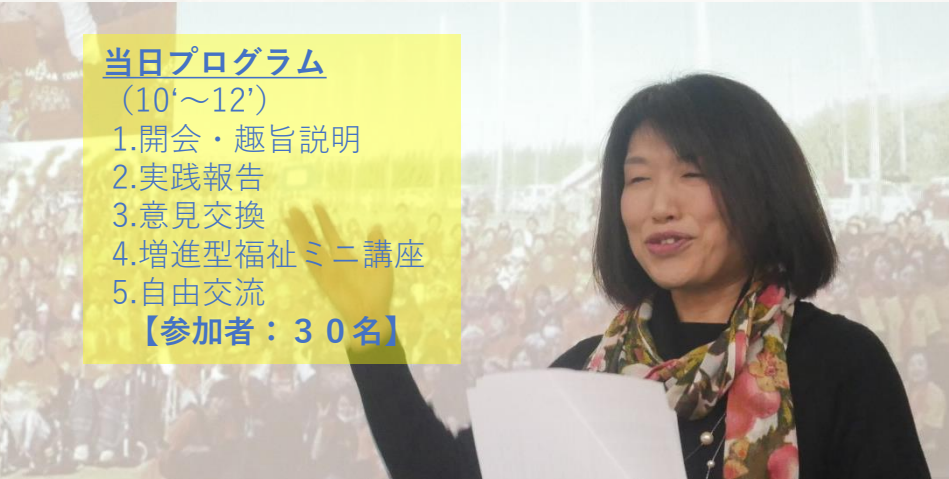
第1回  
2019.12.15

## 当日プログラム

(10'~12')

- 1.開会・趣旨説明
- 2.実践報告
- 3.意見交換
- 4.増進型福祉ミニ講座
- 5.自由交流

【参加者：30名】



とも

## ゆめ伴プロジェクトin門真 -認知症になっても輝けるまちへ-



実践報告者：ゆめ伴総合プロデューサー 森 安美さん

ゆめ伴HPはこちら

### 輝ける場所をまちの中に

- ①老健の入所者の夢をどう叶えようか…から2016年にラン伴を門真市で実施。実際行ってみると、当事者の喜びがすごかった！…一方でここしか輝ける場面はないのか…と気づく。
- ②「お母さんが輝ける場所ってないんでしょうか？」…認知症の母を持つ切実な声を聴き、施設での与えられた楽しみでなく、まちで自分らしく主体的に楽しめる場面をつくっていきたいと思う。
- ③2018年4月にゆめ伴プロジェクトを発足し、「行政、社協、当事者、事業者…」など多様なメンバーとともに多様な場面づくりに取り組んでいる。

### ゆめ伴プロジェクトとは？

目的：認知症になっても輝けるまちづくり  
目標：まちなかにバリエーション豊富な資源を創出  
方法：多様な主体が強みを活かして協働を実践する  
視点：認知症をポジティブに捉える（増進型）  
名称：夢をかなえる道のりをまち全体で伴走

厚生労働省「健康寿命をのばそうアワード」の最優秀賞、他NHK厚生文化事業団など多方面から受賞し、門真市にゆめ伴フィーバーが生まれている。

### 想いをカタチに、多様な場面づくり

- 【ゆめ伴カフェ】おしゃれな場所で活躍できる場面として、カフェの定休日を活用して、認知症の方がスタッフとして9名活躍中。サポーター18名は市民がボランティアとして協力している。
- 【ゆめ伴ファーム】月4回畑作業で綿花を栽培。地域の方のサポートで実現し、多世代交流のキッカケにもなっている。糸を用いた作品はふるさと納税返礼品をめざしている。

### 実践から見えてきたこと（まとめ）

- 1.混ざり合う場面+輝ける場面=ともに輝ける場面
  - 2.プラスの循環  
【混ざり合う→感動→心が動かされた人が増える】
  - 3.共に楽しむことが重要  
【認知症のためのまちづくり…ではなく、認知症の人とともにつくるまちづくり…が大事】  
【困りごとを助ける…ではなく、輝けることを応援する】
- ※結果的に企業など多様な主体が関与しやすくなる